

令和4年度 第3回 文京区地域包括ケア推進委員会 要点記録

日 時：令和4年9月27日（火）午後1時30分から午後2時30分まで

場 所：文京シビックセンター3階 障害者会館

<会議次第>

1 開会

2 議事

(1) 高齢者等実態調査の調査項目について 【資料第1号】

(2) 令和4年度介護予防支援・介護予防ケアマネジメント受託事業者名簿への登録について 【資料第2号】

3 閉会

<出席者> 名簿順（敬称略）

文京区地域包括ケア推進委員会委員

平岡 公一委員長、飯塚 美代子副委員長、石川 みずえ、今井 瑠璃、
藤田 良治、新井 悟、森田 妙恵子、木村 始、高山 礼子、諸留 和夫、
安田 剛一、坂田 賢司、鈴木 悦子、中西 喜久子、太田 道之、
岩波 康人

<事務局>

宮部地域包括ケア推進担当課長、進高齢福祉課長、阿部介護保険課長、
渡部健康推進課長、福澤福祉政策課長

<傍聴者>

1人

1 開会

2 議題

平岡委員長： それでは、令和4年度第3回文京区地域包括ケア推進委員会を開会いたします。

本日は議題が2点ございます。限られた時間ですが、それぞれのお立場、専門領域からご審議をいただきたいと思いますので、委員会の運営にご協力くださいようお願いいたします。

初めは、議題1「高齢者等実態調査の調査項目について」です。

それでは、事務局から説明をお願いいたします。

阿部介護保険課長より資料第1号に基づき、議題1「高齢者等実態調査の調査項目について」の説明を行った。

平岡委員長： ありがとうございます。

では、ただいまの説明に関して、委員の皆様からご質問、ご意見があればご発言いただければと思います。どうぞ。

中西委員： 公募区民の中西ですけれども、最近、私の周りで、耳の遠い人で本人は気がついていない方がいらっしゃるように見受けられます。それで、できれば耳は大丈夫ですかっていう設問項目を入れていただいて、今後、高齢者の健康診断のときに聴力検査をやっていただけるといいなと思いました。ちなみに、豊島区は今年から無料でやるということが日経新聞に載っていました。設問項目については、もし間に合わなければ別に大丈夫ですが、意見だけです。

阿部介護保険課長： スケジュール的に、大変申し訳ないですが今回は追加するのは間に合わないというところもございますので、次回また3年後になりますけど、そちらのときにまた盛り込めるように検討していきたいと思います。

平岡委員長： ありがとうございます。

今のようなご発言でも結構ですので、ご質問、ご意見いただければと思いますが、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、前回もご意見いただいておりますので、今日は報告のような形になりましたが、この議題はこれで終了とさせていただきたいと思います。

それでは、続きまして、議題2「令和4年度介護予防支援・介護予防ケアマネジメント受託事業者名簿への登録について」に移りたいと思います。

それでは、事務局から説明をお願いいたします。

宮部地域包括ケア推進担当課長より資料第2号に基づき、議題2「令和4年度介護予防支援・介護予防ケアマネジメント受託事業者名簿への登録について」の説明を行った。

平岡委員長：ありがとうございました。

それでは、ご質問、ご意見があればご発言いただければと思います。いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、この件につきましてはご承認いただいたという扱いにしたいと思います。ありがとうございました。

—資料第2号「令和4年度介護予防支援・介護予防ケアマネジメント受託事業者名簿への登録について」は、了承された—

平岡委員長：用意されている議題は以上ということになりますが、その他、委員の皆様から何かご発言いただけることがございますか。

それでは、事務局から席上配付資料の説明などお願いできればと思います。よろしく申し上げます。

進高齢福祉課長より席上配付資料「シニア世代スマホデビュー応援プロジェクト」の説明を行った。

平岡委員長：ありがとうございました。ご質問、ご意見いただければと思います。

木村委員：文京区高齢者クラブ連合会の木村です。今、説明がありましたが、事あるごとに高齢者クラブの会合でスマホの活用状況を聞くようにしております。特に、マイナポイントの話を中心に行っているのですが、なかなかハードルが高くて、特に高齢者クラブ連合会のメンバーというのが大体75から85ぐらいの方

が中心で、非常に抵抗があります。改めて区としても大々的に打ち出したほうがいいのではないかという感じがしています。ぜひ今後、力を入れていってもらいたいと思っております。以上でございます。

平岡委員長：よろしいでしょうか。

進高齢福祉課長：マイナンバーカード、キャッシュレス、LINEの使い方とか、そういったところのフォロー体制を強化したいと思っております。特に今ご質問いただいたマイナンバーについては、今、戸籍住民課が2階で頑張っておりますんですけど、それに加えて、先ほど申し上げたソフトバンク、KDDI、ドコモさんが店舗でもマイナンバーの支援をやりたいという声をいただいております。うまく連携すればポイント申請とかをお手伝いできるかなど。あと写真を無料で撮ったりするサービスを考えてくれているようです。私も実際にマイナポイントをやったんですけど、すごく時間がかかって、私の周りでも、なかなかみんなできないよねというのが結論です。なので、しっかりそこは支援をしていきたいなと思っております。

平岡委員長：ありがとうございました。

そのほかご意見はございますか。どうぞ。

飯塚副委員長：これは何講座ぐらいやって終了なのでしょうか。1回で済まないのでしょうか。

進高齢福祉課長：大体1回2時間あるのですが、3回連続の講座でワンセットになっています。それが年間44回あるのですが、計算してみると3日に1回ぐらいはどこかでやっています。

飯塚副委員長：会場は文京区の施設を利用するのか、ドコモなどに行くのでしょうか。

進高齢福祉課長：今既にやっているスマホ教室は区内8か所ありまして、参考までに、真砂中央図書館、水道端図書館、湯島総合センター、シルバーセンターとかでやっているんですけど、やはり地域に偏りが少しあるので、今度スマホを2万円補助するに当たっては、店舗内の教室も増やしていこうと考えているところでございます。

平岡委員長：ありがとうございました。そのほかよろしいでしょうか。

それでは、配付資料の2枚目の説明を事務局よりお願いします。

宮部地域包括ケア推進担当課長より席上配付資料「高齢者見守りあんしんライト事業の実施について」の説明を行った。

平岡委員長：ありがとうございました。それでは、ご質問、ご意見。どうぞ。

高山委員：話し合い員の高山でございます。見守りライトですが、民間ではいろいろな種類があるようですが、特に文京区でこれをやっていきたいというのは、ひとり暮らしの方のそういう声が多いとか、危うい事故があったのか、きっかけを教えてください。

宮部地域包括ケア推進担当課長：こちらにつきましては、電球に通信機能がついている技術ですが、今、高山委員がおっしゃいましたとおり、他にもポットとかいろんなサービスがあるんですけども、こちらは自宅にインターネットの環境がなくても電球についているサービスで使えるような、基本的に携帯電話が入るような通信網のお宅であれば取り付けられるということと、ライト1つにつき1か月1,078円で、こういった見守りを補完するようなサービスが提供できるということと、あとは家族が行けないときに代理でヤマト運輸さんの営業所から駆けつけることもできる機能もあって、コロナ禍の見守りサービスとして、通常の人による見守りを補完するものとしていいのではないかとということで採用いたしました。

高山委員：ひとり暮らしの方が最近極端に増えてきたとか、そういう事例というか、数字的なものでしょうか。

宮部地域包括ケア推進担当課長：そうですね、ひとり暮らし高齢者の方は大体今1万2,000人ぐらい文京区にいまして、夫婦のみ世帯の方が大体7,000人ぐらい、大体1万9,000人の見守りに関してより安全にしていこうという発想で、すごく危ない事象が多く起きているとかそういうことではないんですけども、さらに安心していただくということで事業をスタートさせたいということです。

平岡委員長：ありがとうございました。中西委員。

中西委員：初期費用が1,078円なのはすごく安いんですけど、それだけで、月々は無料なのでしょうか。

宮部地域包括ケア推進担当課長：代理訪問などそういった費用も全部入って1,078

円です。その費用は区が負担しますので、この事業を実施する3年間は無料で実証実験として実施します。

中西委員：すごくいいことですよ。数に制限はないんですか。

森田委員：このライトが何か所か増えてもずっと1,078円なんですか。

宮部地域包括ケア推進担当課長：1世帯に1つ付ける形で、750世帯ぐらいまでを想定しております。

森田委員：結局、1つしか付けられないんですか。

宮部地域包括ケア推進担当課長：そうです。ですので、各家庭で必ずオン、オフするようなトイレとかに取り付けていただくことになります。

森田委員：連絡がつかない場合、もしヤマト運輸の人が行って、どうしていいかわからないような状態の場合はどうするんですか。ヤマト運輸の人がどこかへ連絡するんですか。

宮部地域包括ケア推進担当課長：家族と連絡を取り合いまして、ピンポンしても全然出てこられないけども、中に本人がいるようだというのであれば、例えば高齢者あんしん相談センターと連携したり、警察とか消防と連携を取って、ご家族了承の下で鍵屋さんに来てもらって中に入るとか、そういった対応を考えております。

森田委員：そこまで区でやってくれるんですね。

宮部地域包括ケア推進担当課長：状況を確認してですね。警備業ではないので、勝手には入れませんが、そういう確認を取りながら進めていきます。

高山委員：役所の閉庁時はヤマト運輸さんはどういう判断をされるのでしょうか。

宮部地域包括ケア推進担当課長：代理訪問する時間帯は、このメールが発信されるのが、まず24時間を計るのが朝の9時から翌朝の8時59分までの状態でオン、オフがないかということをチェックしまして、それで10時ぐらいまでの間にご家族とかに異常通知が発信されます。そこからヤマト運輸さんの営業所がやっている時間帯ですので大体18時ぐらいになりますけども、もしご家族とかが行けない場合には代理訪問を依頼していただくという形になります。でも、ほとんどそういったケースはなくて、旅行とかで何日間か家を外すのに連絡を忘れていたとかというケースがほとんどで、ヤマト運輸さんのほうで実際に代理訪問をしたケースは、たしか2021年だと2件ぐらいと少ない数字となっております。

す。

諸留委員：諸留です。ちょっと聞きたいんですけど、LED電球への交換の値段を聞きたいのと、これは各自負担になるのでしょうか。それとメールで通知するというからインターネット回線がないとできないのではないのかと思うんですけど、どうですか。

宮部地域包括ケア推進担当課長：電球は貸与という形になりまして、その取付け、電球代も含めて1,078円になります。ですので、費用は電球代も本人負担はありません。

諸留委員：インターネット回線はどうでしょうか。

宮部地域包括ケア推進担当課長：インターネット回線は、その電球の中に携帯電話と同じようにSIMカードという小さい通信できるカードが入っておりまして、特にインターネットをつなぐ回線とかがなくても、携帯電話を持っているのと同じような感じになります。

平岡委員長：ありがとうございます。そのほかいかがでしょう。どうぞ。

岩波委員：いい事業だと思うんですけども、積極的にPRする予定はないんですか。例えば自治会で、こういうのをやりますから皆さんつけましょうよとか積極的に訪問してPRしていく予定があるか聞かせてください。

宮部地域包括ケア推進担当課長：積極的なという意味では、区報、ホームページとかになりますけども、あと、よくそういう方のお宅を訪問されている民生委員さんとか社会福祉協議会さんとか、そういったところの方にはチラシとかで、こういう事業がありますということで、单身の方のところに訪問をされたときにご案内してくださいとご協力をお願いしようと思っております。

平岡委員長：ありがとうございます。そのほかいかがでしょうか。

木村委員：町会で敬老の日がつい最近ございました。75歳以上にお赤飯を毎年お配りするわけですけど、配る段階になって3人亡くなっている、これが実態だと思うんですよ。また、施設に入っておられて、実際分からないという例もあります。うちの町会は、どちらかという和一戸建てが多いんですが、それでもそういう実態なので、マンションだと本当に分からないので、一つの参考として、住んでいる状況をご承知をいただきたいと思っております。以上でございます。

諸留委員：ちょっと今のいいですか。

平岡委員長：どうぞ。

諸留委員：敬老の日のお祝いのお話ですけど、私のところの町会も、前の町会長がお祝いを持って行ったら怒られたっていうんですよね。介護大変でやっているのにと。だから、私のところは自己申告で申込みしてくださいよってお願いしています。

それと、昔は品物を買ってたんですけど、今、お菓子の引換券をやっているんですよ。そうすると、紙一枚配って、町内に住んでいるお菓子屋さんに引換券を持っていくと、交換して下さって、手間がもう昔に比べたら楽になります。そういうことで、なるほどねって、敬老の日でお祝いばかりではないなって。実際、介護している方の家族の方は大変だろうからね、そんな話も非常に強く印象に残っています。

木村委員：ちょっと付け足しで申し訳ないです。お赤飯だけじゃなくて、うちの町会は非常にユニークな面があって、安否確認も兼ねてやっています。敬老の日にそういうことを一体となっていてやっている、そういうことが一つございます。

安田委員：民生委員の安田ですけど、ライトの話に戻りまして、これは24時間動きがない場合、自動的にメールが行くんですか。どこかでチェックして、家族に送るのでしょうか。

宮部地域包括ケア推進担当課長：メール自体は機械的に判断しておりまして、全く反応がない場合には、翌朝9時が終わった時点で、10時ぐらいに配信されます。

安田委員：出かける場合なんかは事前に届けないとまずいですね。

宮部地域包括ケア推進担当課長：外出とか、24時間以上、2日間とか3日間とか外泊される場合はコールセンターに電話していただくような形でお願いしているんですけど、連絡が漏れてしまうと届いてしまいます。

安田委員：あと、24時間反応がない場合だけではなくて、非常に反応が多い場合もチェックはできるのですか。

宮部地域包括ケア推進担当課長：その辺はないですけども、24時間以外もスマートフォンで確認することはできます。最終オン、オフしたのがいつなのかとかですね。

安田委員：家族の人がチェックはできるっていうことですか。

宮部地域包括ケア推進担当課長：そうですね、オンオフしたとか、向こうからメールが来るのを待たなくても確認することはできます。あと、ウイークリーレポートも自動で届きますので、状況の確認はできます。

宮部地域包括ケア推進担当課長：それから訪問件数で先ほど間違ってお案内してしまいまして、ヤマト運輸さんのサービスなんですけど、2021年は1,500人利用がありまして、代理訪問までやった件数は20件だったということです。1,500件中20件ですので、大体1%ぐらい。ご家族とかが連絡を忘れていたというケースが多いということでした。

参考に、ヤマト運輸さんのほうで訪問したときに中で倒れていて救急搬送されたようなケースは2件ぐらい去年はあったということで、人命救助の一助になっています。中からうめき声のような反応があったので救急を呼んで、ご家族と連絡を取りながら行ったというようなケースもヤマト運輸さんのほうからは聞いております。

森田委員：すみません、そうするとひとり暮らしで、例えば連絡先がないとか、身寄りのない方はどうするのでしょうか。

宮部地域包括ケア推進担当課長：身寄りのない方に関しましては、高齢者あんしん相談センターにご相談いただきまして、高齢者あんしん相談センターが連絡先になるような形で利用していただけるようにと考えています。

森田委員：24時間って長いですね、家族がいればインターネットできれば途中で分かりますけど、そういうのをできない人は、例えば朝9時で終わったら、そのすぐ後に倒れても、翌朝まで24時間、全然分かんないわけですね。

宮部地域包括ケア推進担当課長：人命救助的には、24時間というサイクルが来てしまうんですけど、もっと短いサイクルの何か機械的なものでやるとか、あとはハートフルネットワークを活用したりですとか。こういった機械による見守りもありますけど、人の見守りも含め、様々な見守りの形を活用して高齢者の在宅生活の安心をつくっていきたいと思っています。

平岡委員長：ほかの緊急通報システムはあるんですね。

進高齢福祉課長：緊急通報の場合はペンダント形式になっていまして、ALSO Kさんとやり取りする。ただ、鍵を預けたり、使う方の要件について、病気を

お持ちの方に限定させたものです。今、地域包括ケア推進担当課長が言ったように、色々なもの、機器であったり、人の目であったりを使いながら高齢者の見守りを強化していきたいと考えています。参考までに、東京都観察医務院が出している区内の変死の統計数値があるんですけど、文京区は変死の数が23区に比べると少ない位置づけにあるので、引き続き、頑張っていきたいと思っています。

平岡委員長：ありがとうございました。

では、この件はこの程度でよろしいでしょうか。

その他、特に事務局からお知らせのようなことは、どうでしょうか。

宮部地域包括ケア推進担当課長：次回の第4回目は年明けになりますけども、1月下旬の開催を予定しております。詳細につきましては、また日程調整の上、お知らせをさせていただきたいと思えます。以上でございます。

平岡委員長：議事進行にご協力くださりまして、ありがとうございました。

以上をもちまして閉会といたします。